

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
分担研究報告書

手術治療を要した DISH 骨折に関する多施設研究

研究分担者 藤林俊介 京都大学整形外科 特定教授

研究要旨 手術治療を要した DISH 骨折の詳細を京都大学整形外科および脊椎外科専門医が在籍する関連 13 施設から後ろ向きにデータ収集し、発症機転、治療方法、発症ならびに治療成績に影響を及ぼす因子を解析する。

A. 研究目的

手術治療を要したDISH骨折に関するデータを多施設で収集して発症のリスク因子、治療成績などを明らかにする。

位は胸腰椎移行部と頸胸椎移行部の二峰性に分布することが報告されている。本研究においては関連施設から画像情報を含め、さらに詳細を解析し、発症ならびに治療成績に影響を及ぼす因子の解析を進める。

B. 研究方法

手術治療を要したDISH骨折の詳細を京都大学整形外科および脊椎外科専門医が在籍する関連13施設から後ろ向きにデータ収集し、発症機転、治療方法、発症ならびに治療成績に影響を及ぼす因子を解析する。(倫理面への配慮)

E. 結論

手術治療を要したDISH骨折の詳細に関するデータを収集中であり、発症ならびに治療成績に影響を及ぼす因子を今後明らかにする。

医の倫理委員会承認 R2901 「多施設後ろ向き研究による脊椎脊髄手術の傾向と推移に関する大規模調査」

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

C. 研究結果

目標登録症例数 100 例でデータ収集中。

G. 研究発表

1.論文発表

なし

2.学会発表

なし

D. 考察

DISH骨折の全国調査は本研究班によって調査が行われ、すでにその結果は公表されている (Journal of Orthopaedic Science 24) 2019)601-606)。約40%の症例で診断の遅延があり、患者要因が約40%、医師要因が約60%、平均年齢が75歳で男性が約80%と多く、受傷機転は転倒が半数以上を占め、骨折部

H. 知的財産権の出願・登録状況

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし